

IntersightによるNutanix HCIクラスタのオフラインでのアップグレード

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Intersightを使用してCisco Nutanix HCIクラスタのファームウェアアップグレードを実行する手順について説明します。

バックグラウンド情報

ISM/IMMクラスタのファームウェアを修復する場合は、ライフサイクルマネージャ(LCM)を使用することをお勧めしますが、不具合やField Notice(FN)が発生した場合など、特定のシナリオでは、アップグレードまたはダウングレードのために特定のバージョンを選択する必要があります。この場合、Intersightを介してファームウェアの変更を適用できます。

LCMプロセスとは異なり、オフラインアップグレードでは、ホストごとにファームウェアの編集とパッチ適用を手動で行う必要があります。これらのアクションを実行する前に、クラスタのワークロードとキャパシティを理解する必要があります。

ユーザは手動でホストをメンテナンスモードに設定し、Intersightを介してファームウェアの変更を適用した後、メンテナンスモードを終了します。これは、クラスタ内のノードごとに繰り返されます。



ヒント：クラスタで同時に見つからないノードの数に耐えられる数の詳細については、Nutanixのドキュメント『[Cluster Fault Tolerance](#)』を参照してください。

手動アップグレード手順の概要

1. 新しいファームウェアバージョンで各ファームウェアポリシーを編集します。
2. ファームウェアをステージングするために、即時に再起動せずにすべてのプロファイルを展開します。
3. Prism ElementまたはPrism Centralを介して、メンテナンスモードにシングルノードを配置

します。

- メンテナンスモードでサーバのプロファイルをアクティブにして、サーバの電源を再投入し、ファームウェアを適用します。
- クラスタ内のすべてのノードに対して、手順3と4を繰り返します。
- アップグレードが完了し、クラスタが正常であることを確認する

ファームウェアポリシーの変更

Intersightはファームウェアポリシーによってファームウェアをプッシュします。各ノードには独自のポリシーがあり、これらのポリシーを編集することで新しいバージョンが選択されます。

ファームウェアポリシー名の構文はntnx_firmware_<Serial Number>_<Deployment UUID>です。

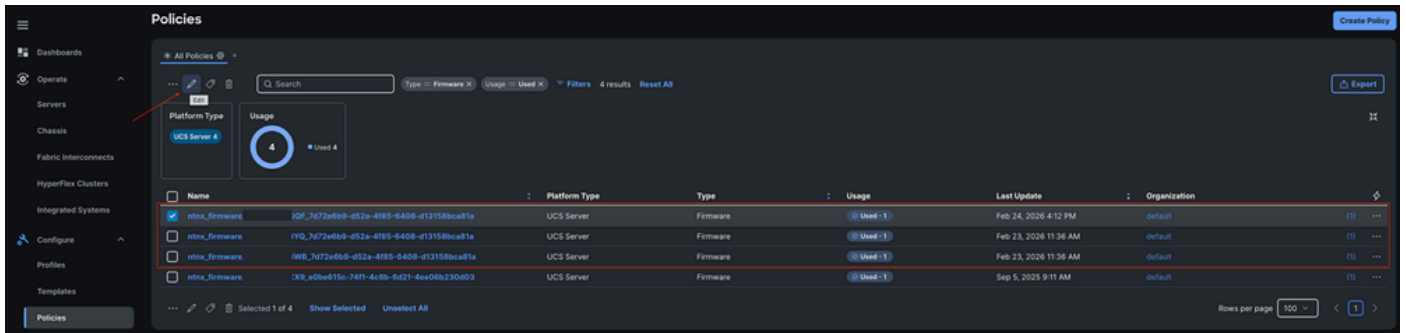
ポリシーの検索と編集

Policiesに移動し、Filters > Check Firmwareの順にクリックします。

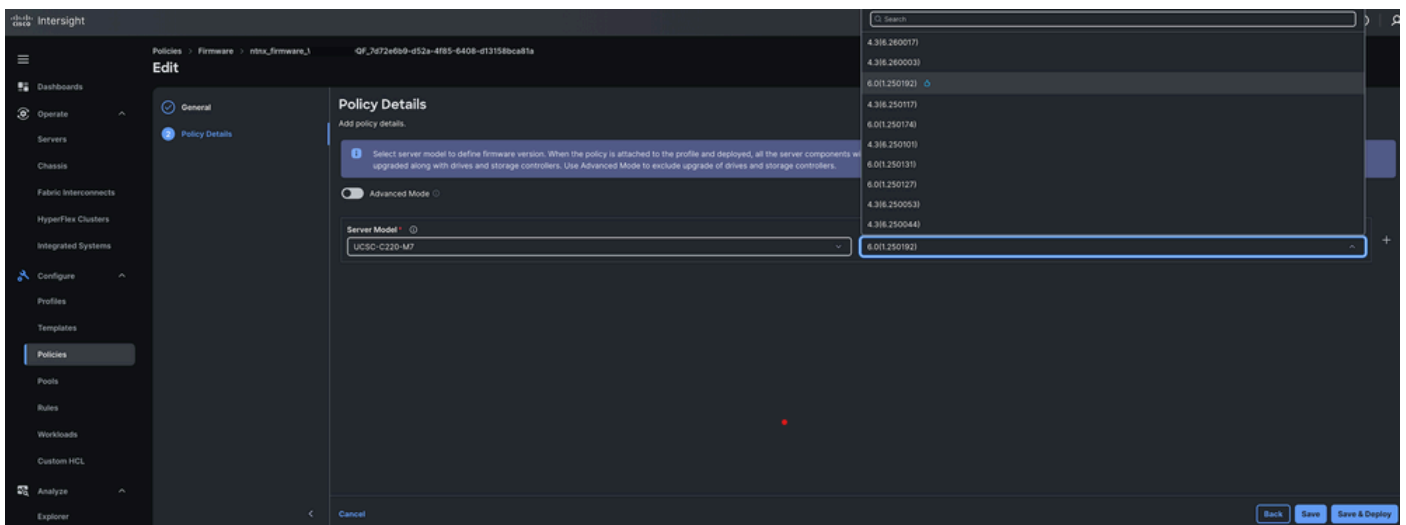
The screenshot shows the Intersight 'Policies' page. The main area displays a table of policies with columns for Name, Platform Type, Type, and Usage. A 'Usage' pie chart shows 4 policies are 'Used' and 13 are 'Not Used'. The 'Filters' sidebar on the right is open, showing 'Name' and 'Platform Type' filters. The 'Type' filter is set to 'Firmware', and the 'Usage' filter is set to 'Used'. The 'Organization' filter is set to 'default'. The 'Tags' filter is empty.

Name	Platform Type	Type	Usage
ntnx_firmware_WB_7d72e6b9-d52a-4f85-6408-d13158bca81a	UCS Server	Firmware	Used - 1
ntnx_firmware_YQ_7d72e6b9-d52a-4f85-6408-d13158bca81a	UCS Server	Firmware	Used - 1
ntnx_firmware_QF_7d72e6b9-d52a-4f85-6408-d13158bca81a	UCS Server	Firmware	Used - 1
ntnx_firmware_WB_ad3d657e-2140-4580-5534-d3b48758ad6a	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_QF_ad3d657e-2140-4580-5534-d3b48758ad6a	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_YQ_ad3d657e-2140-4580-5534-d3b48758ad6a	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_X9_6f405bb5-a033-4f68-691a-5838ce671ec2	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_QF_128af6fb-e23b-4a8a-5ad8-d2e43f4262cf	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_YQ_128af6fb-e23b-4a8a-5ad8-d2e43f4262cf	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_WB_128af6fb-e23b-4a8a-5ad8-d2e43f4262cf	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_X9_e0be615c-74f1-4c8b-6d21-4ee06b230d03	UCS Server	Firmware	Used - 1
ntnx_firmware_YQ_39aaaffb-8f32-4c26-7f85-df3c6b45a284	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_QF_39aaaffb-8f32-4c26-7f85-df3c6b45a284	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_WB_39aaaffb-8f32-4c26-7f85-df3c6b45a284	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_QF_6edae306-fcbb-417b-6d8d-244ae766215f	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_WB_6edae306-fcbb-417b-6d8d-244ae766215f	UCS Server	Firmware	Not Used
ntnx_firmware_YQ_6edae306-fcbb-417b-6d8d-244ae766215f	UCS Server	Firmware	Not Used

変更するポリシーを選択し、editをクリックします。

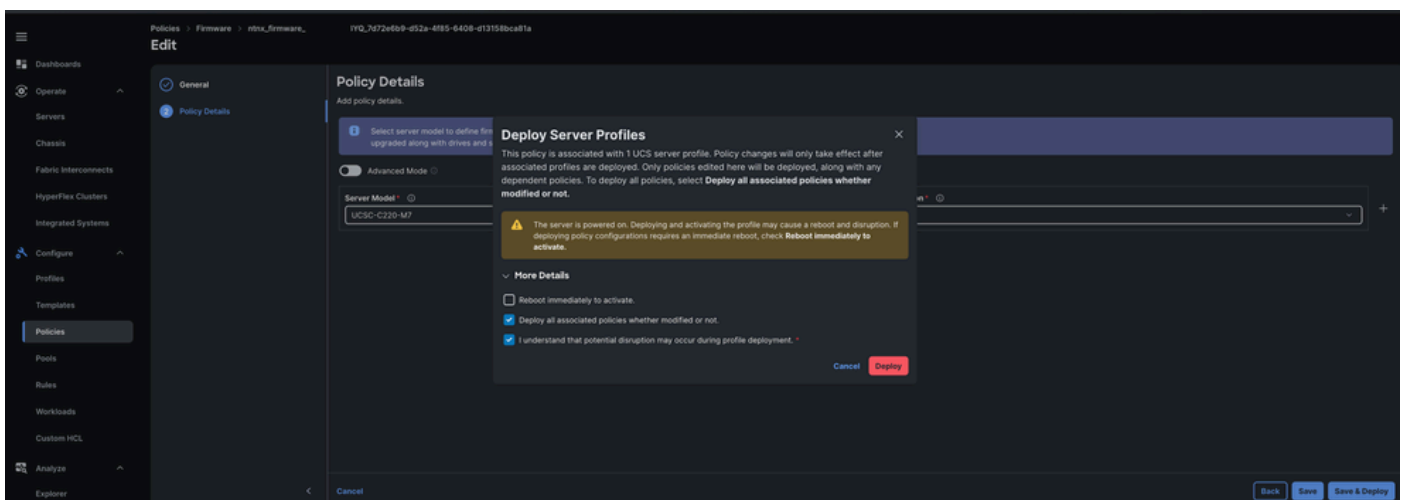


ドロップダウンリストから目的のファームウェアバージョンを選択し、[保存して展開]をクリックします。



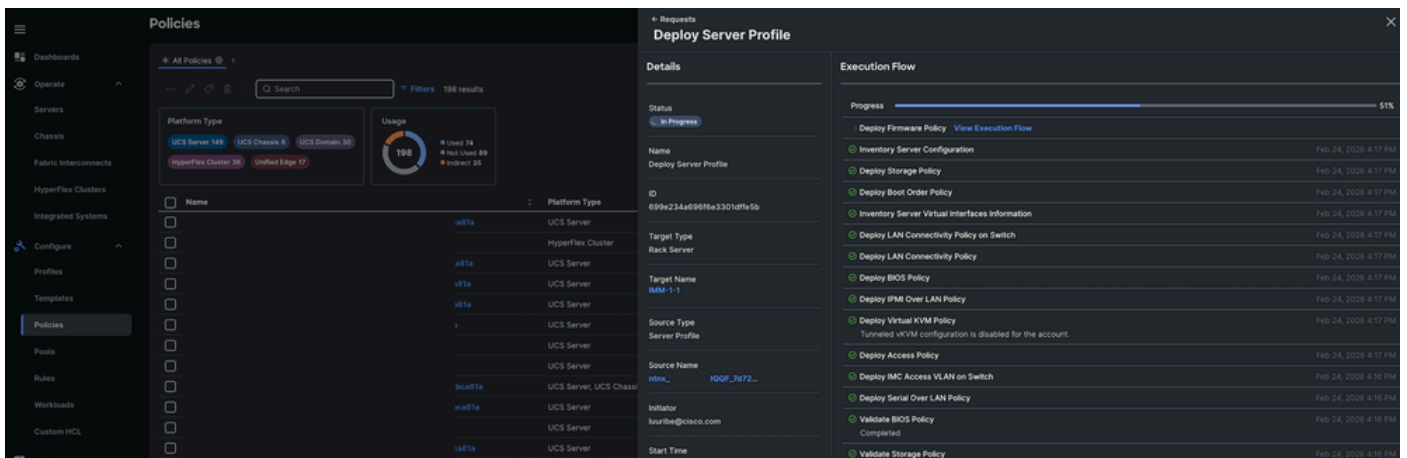
ファームウェアのステージング

サーバプロファイルを再導入する場合は、Reboot Immediatelyオプションのチェックマークをはずします。これにより、ブレードに新しいファームウェアがステージングされます。変更は、次の電源の再投入後にのみ実行されます。

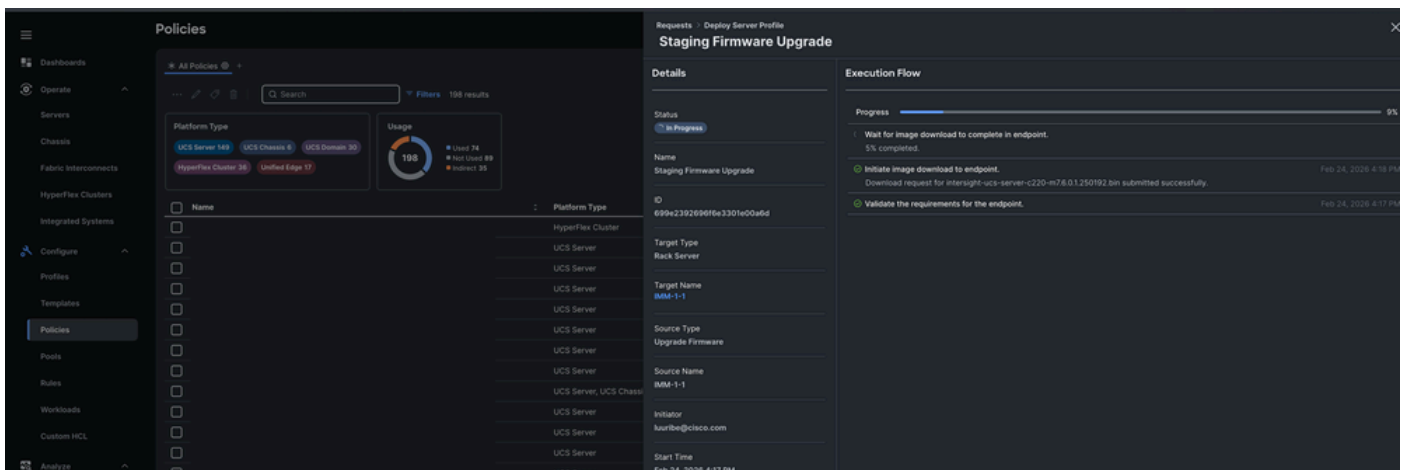


導入を開始したら、次の作業を行います。

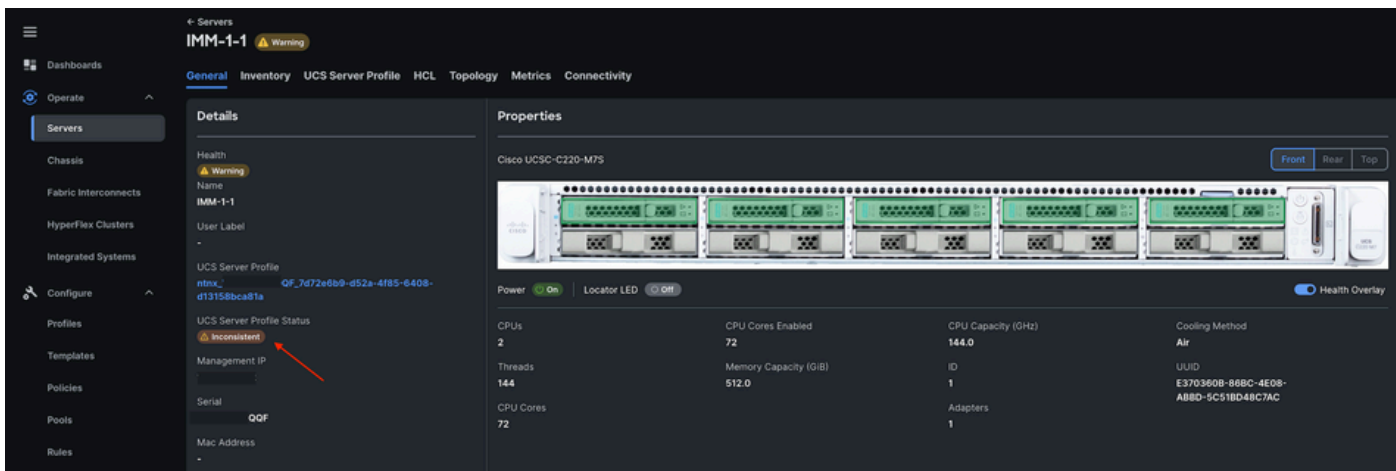
- 新しいワークフローが「リクエスト」タブに表示されます。



- ファームウェアのダウンロードが開始されます。



- 即時にレポートせずにサーバを導入すると、サーバプロファイルにInconsistentステータスが表示されます。これは、プロファイルがアクティブになるまで必要です。



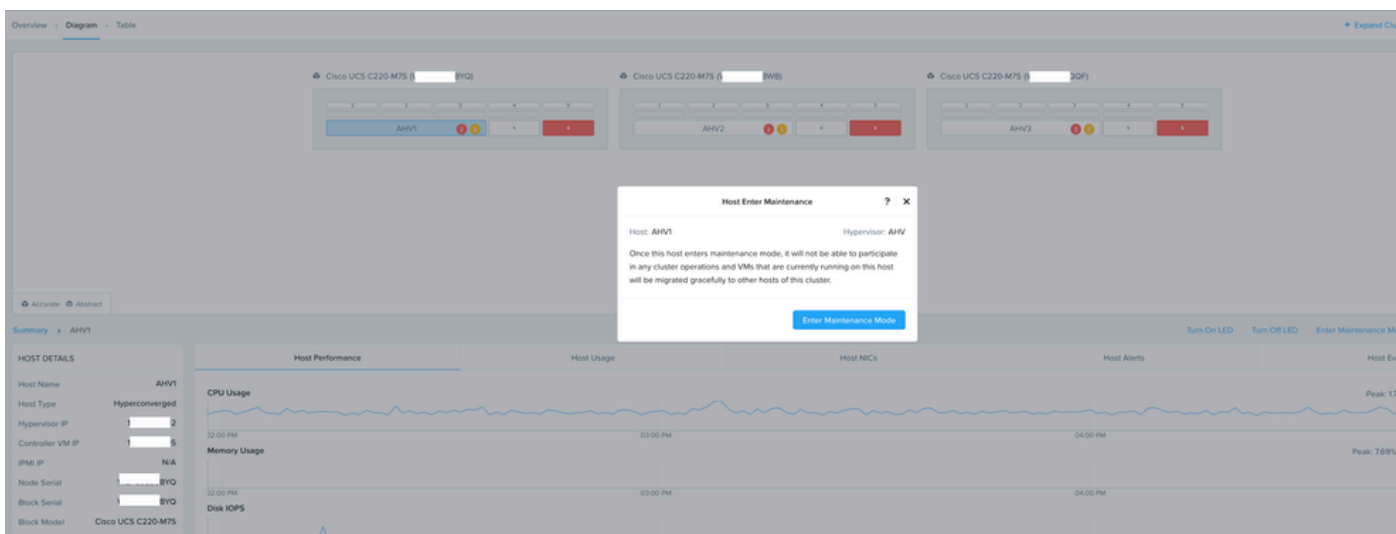
その他のポリシーのファームウェアの編集を続行し、即時リポートを行わずに展開します。

Prism CentralまたはPrism Elementを介してサーバをメンテナンスモードにする

中断を回避するには、サーバをメンテナンスモードにして、再起動の前にワークロードを移行する必要があります。

貫通プリズム要素

1. Hardware > Diagramの順に選択します。
2. AHV#を選択します。
3. [メンテナンスモードに入る]を選択します。



貫通プリズムセントラル

1. Infrastructure > Hardware > Clustersの順に移動します。
2. Clusterを選択します。
3. 特定のノードを選択してメンテナンスモードに切り替えます。

プロファイルのアクティブ化とファームウェアのプッシュ

ホストがメンテナンスモードになると、ファームウェアをノードにプッシュできます

1. Profilesタブに移動します。
2. メンテナンスモードで、シリアル番号を使用してサーバのプロファイルを見つけます。
3. Actions > Activateの順に選択します。

The screenshot shows the 'Profiles' page in HyperFlex Cluster Profiles, specifically the 'UCS Server Profiles' tab. The page displays a table of profiles with columns for Name, Status, Target Platform, UCS Server Template, Template Sync Status, Assigned Server, and Last Update. Three profiles are listed, all with an 'Inconsistent' status. A context menu is open over the second profile, showing options like Deploy, Activate, Edit Assignment, Unassign Server, Clone, Edit, Delete, Set User Label, Attach to Template, Create a Template, and Server Actions.

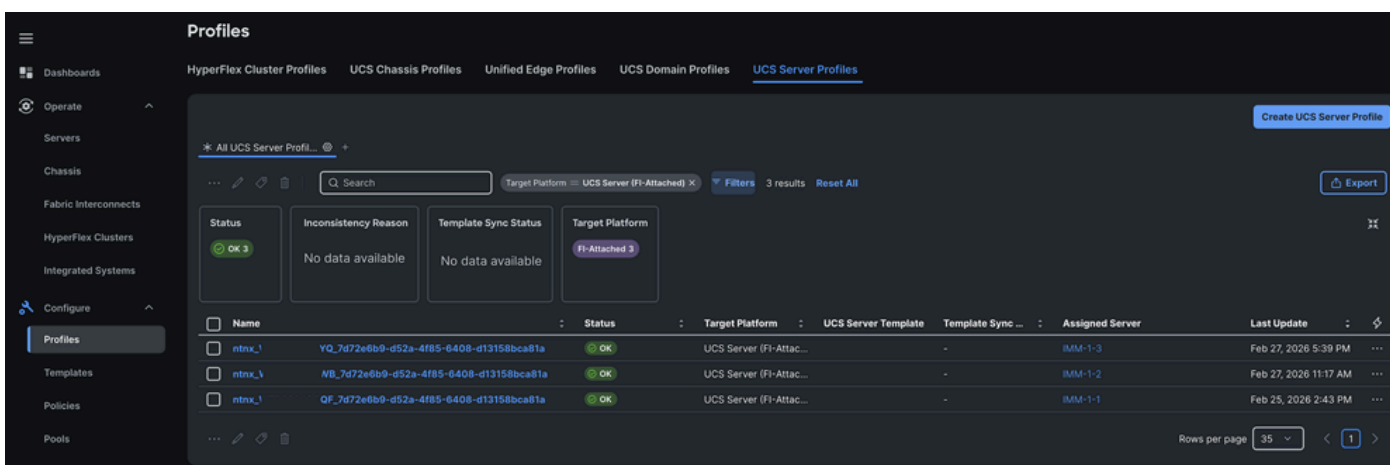
Name	Status	Target Platform	UCS Server Template	Template Sync St...	Assigned Server	Last Update
ntnx_ IWB_7d72e6b9-d52a-4f85-6408-d13158bca81a	Inconsistent	UCS Server (FI-Attach...	-	-	IMM-1-2	Feb 24, 2026 6:41 P...
ntnx_ IQF_7d72e6b9-d52a-4f85-6408-d13158bca81a	Inconsistent	UCS Server (FI-Attach...	-	-	IMM-1-1	Feb 24, 2026 6:00 F...
ntnx_ IYQ_7d72e6b9-d52a-4f85-6408-d13158bca81a	Inconsistent	UCS Server (FI-Attach...	-	-	IMM-1-3	

(オプション) KVMコンソールからファームウェアのアップグレードの進行状況を監視します。



アップグレードの確認とメンテナンスモードの終了

アクティブ化が完了すると、サーバプロファイルのステータスがOKに移行します。



これで、ノードをメンテナンスモードから外すことができます。

Overview - Diagram - Table + Expand Cluster Repair Host Boot Device

Accurate Abstract

Summary > Turn On LED Turn Off LED Exit Maintenance Mode Repair Host Boot Device

HOST DETAILS

- Host Name: 34
- Host Type: Hyperconverged
- Hypervisor IP: 34
- Controller VM IP: 37
- iPMI IP: N/A
- Node Serial: W
- Block Serial: W
- Block Model: Cisco UCS C220-M75
- Storage Capacity: -
- Disks: SSD: 5 Disks
- Memory: 0 GiB
- CPU Capacity: 0 Hz

Host Performance	Host Usage	Host NICs	Host Alerts	Host Events
CPU Usage		No data available		
Memory Usage		No data available		
Disk IOPS		No data available		
Disk IO Bandwidth		No data available		

すべてのプロファイルに[OK]ステータスが表示されるまで、残りのノードに対してこのプロセスを繰り返します。

Profiles

HyperFlex Cluster Profiles UCS Chassis Profiles Unified Edge Profiles UCS Domain Profiles UCS Server Profiles Create UCS Server Profile

* All UCS Server Profil... + Export

Search Target Platform UCS Server (FI-Attached) X Filters 3 results Reset All

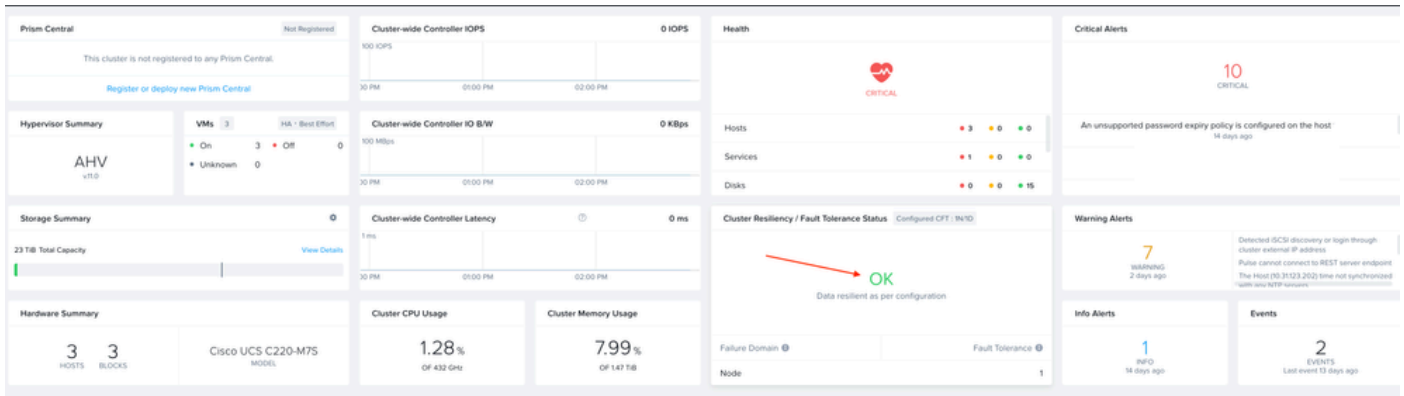
Status	Inconsistency Reason	Template Sync Status	Target Platform
OK	No data available	No data available	FI-Attached

Name	Status	Target Platform	UCS Server Template	Template Sync ...	Assigned Server	Last Update
ntnx_1	OK	UCS Server (FI-Attac...			IMM-1-3	Feb 27, 2026 5:39 PM
ntnx_1	OK	UCS Server (FI-Attac...			IMM-1-2	Feb 27, 2026 11:17 AM
ntnx_1	OK	UCS Server (FI-Attac...			IMM-1-1	Feb 25, 2026 2:43 PM

Rows per page 35 < 1 >

クラスタの健全性の確認

PrismでCluster ResiliencyがOKになっていることを確認します。



関連情報

[Cisco UCSハードウェア互換性リスト](#)

[Nutanixプラットフォームの互換性と相互運用性マトリクス](#)

[KB-15110 LCM事前チェック : test cisco validate credentials and setup](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。